

常総労働基準監督署長が建設工事現場の 安全パトロールを実施しました！

令和8年7月3日（金）



（建設現場をパトロールする署長）

現場では、①日向と日陰の2箇所
「暑さ指数」を測定し、その結果を朝礼
広場の看板にリアルタイムで表示する②
1時間ごとに、水分補給を促すアニメ
ーションをデジタルサイネージで表示する
③冷房の効いた休憩室を複数箇所に設け
るなどの熱中症対策が講じられていまし
た。

このほか、現場内のルールを、日本語
だけでなく、英語やベトナム語で掲示す
るなど、外国人労働者の労働災害防止の
取り組みも実施されていました。

皆様の事業場におかれましても、労働災害防止はもとより、熱中症対策の強化を徹底し
ていただきますようお願いいたします。

当日ご対応いただいた担当者の皆様、お忙しい中パトロールにご協力いただき、誠にあ
りがとうございました。

常総労働基準監督署（署長 久保木絵津子）
は、令和8年7月3日、全国安全週間（令
和8年7月1日から同月7日）に合わせ、
安藤ハザマ・谷原・成島特定建設工事共同
企業体が施工する建設工事現場において、
安全パトロールを実施しました。

昨年、熱中症による休業4日以上労働災
害は、全国で1803件発生しており、平成
17年以降最多を更新しました。このような
状況から、熱中症の罹患リスクそのものを
低下させることを目的として、令和8年3
月には「職場における熱中症防止のための
ガイドライン」が策定されるなど、熱中症
対策の推進が引き続き求められています。



（水分補給を促すデジタルサイネージ）